

第2回 村上市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 開催日時：平成26年11月14日（金） 午前9時30分から午前10時15分

2. 開催場所：村上市生涯学習推進センター 2階大・中会議室

3. 出席者：（敬称略）

【出席委員】大滝会長、田巻(耕)委員(園部村上営業所長代理出席)、小田(修)委員、藤木委員(田邊調査係長代理出席)、清水委員、林委員、船山委員(小田課長補佐代理出席)長谷部委員、磯部委員、櫻井委員、大嶋委員、本間委員、佐藤委員、建部委員、小田(孝)委員、田巻(均)委員、田村委員(渡邊係長代理出席)、白砂委員、井上委員(堀主任代理出席)、佐野委員、齊藤委員、島田委員、板垣(栄)委員、板垣委員

【欠席委員】石塚委員、伊藤委員、川崎委員、碓井委員、富樫委員

【委員以外】坂町タクシー株式会社、藤観光タクシー株式会社、株式会社はまなす観光タクシー、

【事務局】大滝、太田、國井、本間(村上市)

4. 傍聴者：0人

5. 会議次第

1 開 会

2 挨拶(会長)

3 委嘱状交付

4 委員及び事務局員紹介

5 副会長及び監査員の任命について

6 議 事

〔報告事項〕

(1) 広報PR活動報告

(2) 事業実施状況

〔協議事項〕

議題1 バスに関する高校生アンケートについて

議題2 平成26年度 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持計画)及び平成25年度 地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)の事業評価について

7 その他

8 閉 会(副会長)

6. 会議資料

【配付資料】 議事次第 出席者名簿 配席図 運行利用状況等

【議事資料】

資料1-1 広報PR活動報告(いいねっか村上2014)

資料1-2 広報PR活動報告(のりかた教室)

資料1-3 広報PR活動報告(イヨボヤバス2014)

資料2 事業実施状況

議題1 バスに関する高校生アンケート

議題2 事業評価について

7. 会議経過

1 開 会

○大 滝 事 務 局 長：皆さんおはようございます。きょうはお忙しいところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。それでは、ただいまから第2回村上市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

自治振興課の大滝と申します。どうぞよろしく申し上げます。それでは、開会に当たりまして、本協議会の会長からご挨拶を申し上げます。

2 挨 拶（会長）

○大 滝 会 長：皆さんおはようございます。本日は本当に道足の悪い中、風の強い中を第2回の協議会にご出席いただきましてまことにありがとうございます。心から感謝を申し上げます。本日は現在推進しております学生支援の一つである学割についてのアンケート内容の審議をお願いしたいと考えております。また、第1回協議会でご案内のとおり平成26年度の実証運行の評価が変更になりましたことを踏まえ、地域公共交通確保維持改善事業補助金の規定に合わせた形で、昨年10月からことし9月までの1年間の利用状況等をご報告させていただきます。委員の皆様にはいろいろな観点からご意見やご提案をいただきますようお願い申し上げます。一言ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。大変ご苦労さまでございます。ありがとうございます。

○太 田 課 長 補 佐：ありがとうございました。それでは、会議を始めたいと思います。以後座って進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

では、まず初めに、本日の資料についてご確認をお願いいたします。皆様のお席に議事次第、出席者名簿、配席表、運行利用状況等及び議事資料、広報PR活動のイヨボヤバスプロジェクト2014並びに資料2、事業実施状況があるかと思っておりますので、ご確認ください。なお、資料の不足等ございましたら事務局のほうまでお申し付けください。

それでは、議事次第に従いまして本会を進行させていただきたいと思っております。

3 委嘱状交付

4 議 事

○太 田 課 長 補 佐：それでは、本会の成立についてご報告申し上げます。協議会規約第11条第2項により、本会議は委員の過半数の出席を求められておりますが、本日の協議会につきましては過半数に達しておりますので、成立することをご報告いたします。

それでは、議事に入りますが、協議会規約第11条の規定により、会長が以降協議会の議長を務めることとなっておりますので、これより会長により議事の進行をお願いいたします。

〔報告事項〕

（1） 広報PR活動報告（資料1）、（2） 事業実施状況（資料2）

○大 滝 会 長：それでは、規約の定めによりまして、暫時の間私が議長を務めますので、ご協力のほどよろしくお願いをいたします。4番の議事に入らせていただきます。報告事項（1）、広報PR活動報告について、そして（2）、事業実施状況について、あわせてご報告をお願いいたします。

○事 務 局： - - - 資料1～2に基づき詳細に説明 - - -

○大 滝 会 長：ただいま報告事項として、（1）と（2）について説明がございました。皆さんからご意見、ご質疑等ございましたらお願いをいたします。特段ないよ

うでございますので、報告事項でございますので、よろしくお願いいたします。

〔協議事項〕

議題1 バスに関する高校生アンケートについて

- 大 滝 会 長：続きまして、協議事項に入らせていただきます。議題の1、バスに関する高校生アンケートについてを議題といたします。事務局の説明を求めます。
- 事 務 局： - - - 議題1に基づき詳細に説明 - - -
- 大 滝 会 長：ただいま協議議題1のバスに関する高校生アンケートについて説明がありました。簡単な説明でございますけれども、この資料は前もって皆さんに配付していますか。
(前もって配付してありますの声あり)
- 大 滝 会 長：前もって配付してあるのですか。事前配付してあるということでございます。皆さんからどんなようなご意見でもよろしゅうございますので。はい、どうぞ。
- 委 員：山北地域区長会の佐藤と申します。
- 大 滝 会 長：座って結構ですので、どうぞ。
- 委 員：ここには高校生のアンケートとなっておりますけれども、父兄の送り迎いのアンケートなんかもとっていただければよいなというふうに思います。朝夕の送り迎いの親の負担というのは、大変家族にとって大きな負担になっていると思いますので、その辺についてもしっかりとデータをとって、バスの運賃が高いとか時間帯が悪いとか、その辺をしっかりと調査した上で何らかの結果を出していただきたいというふうに思います。以上です。
- 大 滝 会 長：ただいまのご意見でございますけれども、この設問の中にご父兄の方々の送迎、それについても非常に現状を考えると無理があるのではないかというようなことでありますので、事務局から説明を願います。
- 事 務 局：ただいまのご意見大変参考になります。ありがとうございます。学校側と今後アンケートの実際のとり方の手法等も含めまして検討させていただきまして、場合によっては父兄さんの方、別段のアンケートということも踏まえまして私どものほうで対応させていただきたいと思えます。
- 大 滝 会 長：はい、対応してください。そのほかございますか。はい、どうぞ。
- 副 会 長：このアンケートの目的が今後に利用するという話ですけれども、具体的にこのアンケートからどういうことを知って、どういうところに適用しようといえますか、どういうところを変えていくとか、その辺を教えていただけませんか。
- 大 滝 会 長：アンケートのねらいと目的。
- 事 務 局：アンケートの目的なのですが、アンケートを通して、学生の皆さんの生活がどういうふうな公共交通とリンクできるかというふうなことを調べたいと思います。その結果を通してバス停の位置を、近くしたほうがいいのか遠くしたほうがいいのかというふうなことの調整を行いたいと思います。あともう一つ、先ほど申したとおり生活の様式を見ることによって新たな路線、新たな運行というものが見えてくること期待をしております。それを踏まえてダイヤに反映したり、路線に反映したりというようにしていきたいと思っております。
- 大 滝 会 長：ということでアンケートを出していただくということでございます。ほかに

ございましたらどうぞ。しばらくしてないようでございますので、議題の1番、バスに関する高校生アンケートについてはこのようなアンケートをさせていただくということによろしゅうございますか。

(異議なしの声あり)

○大 滝 会 長：はい、お願いいたします。

議題2 平成26年度 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持計画)及び平成25年度 地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)の事業評価について

○大 滝 会 長：続きまして、議題の2番、平成26年度 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持計画)及び平成25年度 地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)の事業評価を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○事 務 局： - - - 議題2に基づき詳細に説明 - - -

○大 滝 会 長：ただいま議題2について説明がございました。皆さんからご意見、ご質疑等をいただきたいと思います。

○副 会 長：学割の効果で、ほぼ達成とか増加したとかいうのがあるのですけれども、どの程度が学割の効果か教えていただきたいと思います。

○大 滝 会 長：はい、どうぞ。

○事 務 局：その資料に関しては、資料2の3ページをごらんください。そこに学割の効果と思われる数字が並んでおります。飛躍的に数字が上がっています。各路線で4月から順当に人数が上がってきているというのがこの学割の効果ではないかなと感じております。あと、6月の乗降調査を行ったのですけれども、そこは村上営業所を通るバス路線が13路線あるのですけれども、11路線で前年度比100%以上の伸びが示してありましたので、これは学割の効果ではないかと推察されます。以上になります。

○大 滝 会 長：ほかに皆さんからご意見ございましたらお願いをいたします。しばらくしてご意見ないようでございますが、議題2の平成26年度 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持計画)及び平成25年度 地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)の事業評価についてはよろしゅうございますか。

(異議なしの声あり)

○大 滝 会 長：はい、ではよろしくお願いいたします。

5 その他

○大 滝 会 長：5番、その他でございますが、事務局からございましたらお願いします。

○事 務 局：特にございません。

○大 滝 会 長：事務局にこの公共交通で地域の住民とか利用者からどのようなご意見が寄せられているのか。もし寄せられたご意見がありましたら少しくらい紹介してみてください。

○事 務 局：ことしの8月の中旬から下旬にかけて、インターンシップの学生さんが来ていただいたので、バス路線の利用者の方もしくは停留所付近の方々の住民の方に聞き取り調査を実施しました。営業所で会った女学生に話を聞いたのですけれども、どこにお住まいですかと聞きましたら、蒲萄ですと。バス利用しているのですかという話をしたら、バスで通っていると。前は親に送ってもらったが、4月からどうも学割があるよと、バス安く乗れるよと聞いたの

でバスの通学に切りかえたと。友達も乗っているの、通学がちょっと楽しくなったという意見をいただきました。あと、もう一つが営業所で、これは松喜和線利用の60代ぐらいの女性の方に伺ったのですけれども、どういう目的でバスを使いましたかと聞きましたら、通院で使っていると。普通は車を使って運転するのだけれども、今回は目の病気だったので、車が運転できないと。バスが松喜和線、これは岩船を通過して神林のほうに行くバスですけれども、とても助かっているというご意見をいただきました。さらに伊呉野線の沿線にお住まいの70代のご夫婦に伺ったのですけれども、JRがあるのでJRで勝木駅から府屋駅まで行くという利用を我々のほうでは予測していましたが、高齢者の方々は駅のホームからホームに渡る階段の上りおりがとてもつらいそうです。それで、やはりステップが1段、2段しかないバスを多く利用したいというご意見もいただきました。やはり高齢者の身になって聞かないとわからないなというのが率直な意見でした。以上です。

○事務 局：補足をさせていただきます。のりあいタクシーについてさまざまな方からご意見をいただくことがございます。利用されている方につきましては、ほぼおおむねよかったと、非常に利便性が高いということで好評を得ております。しかし、その反面利用されていない方につきましては名前は知っていますが、実際使うのがなかなか大変なのではないかというイメージを非常に持たれております。私どもとしても周知活動には努めているのですが、実際利用されないとわからないというところが往々にして聞こえております。この点につきましては、私ども市の保健師の活動を通しまして、さらに地域のほうに入りまして説明をさせていただきます、さらにご意見を頂戴したいなというふうに考えております。直近ではそういうようなご意見を賜っております。

○大 滝 会 長：そのようなご意見があるということで報告をいただきました。その他、皆さんからございましたらお願いをしたいと思います。はい、どうぞ。

○委 員：こののりあいタクシーのデータを見ますと非常に山北地区は利用者が少ないと、利用率が悪いということでありますが、今回山北の商工会で買い物弱者、それから病院弱者、通院弱者のアンケートをとりましたので、本当は自分もこの会議に間に合えばその資料をもらってこようと思いましたがけれども、何か東京のほうに行って、そのデータを集計するのではしばらく時間がかかるというふうな話がありました。ぜひこのアンケートを参考にして、今後も山北地域ののりあいタクシーの活用にご利用していただきたいというふうに思います。以上です。

○大 滝 会 長：はい、ということでございます。実は私もこの前商工会の行政懇談会に参りまして、その話がございました。非常に利用が少ないというようなことでありますけれども、なぜ少ないかということでございますけれども、大きな理由としては山北地区は案外コミュニティーがしっかりしているのではないかと。地域コミュニティーがしっかりしているために、俺が行ったらおめさんも乗っていかないかというようなことで、誘い合っている傾向が強いのではないかとというようなご意見もございました。いずれにしても今そういうアンケートとっているということであれば、そのアンケートを分析して今後の方針に生かしていきたいと、そのように考えていますので、よろしくお願ひします。補佐、何かございましたら。

- 事務 局：山北地区につきましては、利用実態が低いということで、そのような形を現在とっております。今、会長が言われましたとおりアンケートの結果、コミュニティをいかにして強くしていくかというのが持続可能な公共交通の形態だと思っておりますので、ぜひ参考にさせていただきたいと思えます。
- 大 滝 会 長：その他、皆さんからご意見等ございましたら、はい、どうぞ。
- 委 員：前回もちょっとお話ししたのですが、私岩船出身なので、前回いただいた各地区ののりあいタクシーの時刻表もございます。これについて岩船は、全然該当していません。それと、前回もお話ししましたとおり、バスは乗りたいけれども、数が少ないと。また、我々のバスを見ていけば本当に油代も取れないような、二、三人しか大型バスに乗っておりません。あれはマイクロでも結構ですし、ライトバンでも結構です。もう少し30分に1本ぐらいは数を出していただいて、それは無理だかもしれませんが、それだけ利用者をふやしていただきたいというふうに思います。それから、高齢者がバスに乗ることが容易でないと、危ないので。だから、タクシーを毎回利用しても自己負担が重荷になるということを前回お話ししました。これについてもう少し市でも何とかならないかということで、逆に私はお叱りを受けております。皆さんにも聞いていただきたいのですけれども、なぜ私のところに岩船のある程度の方がそういうお叱りを言うのかと、おまえが代表だろうと、そうやって意見を言われなかったらやめれという、そういう口調で言われます。これは、またきょうの会議あるから皆さんにお話ししてきますと話してきたのですけれども、バスの数をふやしていただきたいということが1つと、それから、岩船を抜けないでくださいと、はっきり言ってばかにしないでくださいということを言われました。この返事をきょう持っていかないとまた私がお叱りを受けるのです。何のためにおまえ会長しているのだと。議員に言ってもだめだからと、こういうような口調でありました。そういうことに対してバス半額にすれとか、タクシー半額にすれということは私から言われませんが、やはり私もここへ来るのに足がないわけです、バイクは乗るけれども。そうすれば、やはり友達が、いや、区長、おまえが（区長を）している間は、俺いつでもおまえの迎えするからと言えば、ただでないわけです。タクシーの半額ぐらいは納めているのです。それはそれとして、やはり岩船でもそういう人が余計いると。口には言うけれども、公に言えないのだと、おまえ代表だから、よう言うてきてくれと。今まで車に乗っていたのだけれども、マイカーは乗っていたけれども、高齢だから事故を起こすと危ないからこれから乗れないのだと。俺もばばも、言うなれば家内も足がだめだと。前回もこの話ししました。そしたら、前は今度学生の通学や移動の問題があります。リハビリ大学の通学の関係もあるから、岩船地区もだんだんよくなるから、もう少し待ってくれという返答をいただきました。この返答についていつまで待てるのかと、そういうことも含めて何とか皆さんから、特に事務局のほうから、「いや、岩船こうしたほうがいい」とか、そういうはっきりした返事を持っていかねば、また私もあっちこっちからお叱りを受けるのです。車ないということになれば、これはどうしようもないのです。今はうちに車があっても、悪いけれども、じいちゃん、ばあちゃんは別な車に行けと、そんな感じに言われるような時代なのです。だから、そういうことも含めて、やっとなつて歩いて歩いている人も医者とか買い

物、そんな感じで村上まで来ているわけです。岩船に大きなスーパーでもあれば、もっと身近に買われるかもしれません。岩船に今体育館の問題も出しています。さまざま問題も出していますが、それこそはっきりした返答もいただけないということで、今岩船の人は困っている状態です。だから、この交通に対しても何とかもう少し皆さんのお力で岩船を助けていただきたいというふうに岩船代表として私そう思いますので、よろしくをお願いします。

○大 滝 会 長：岩船区長の磯部さんからお話がございました。区長さんという、本当に大変な職務をなされておられて、心中お察し申し上げます。事務局から説明をお願いします。

○事 務 局：前回もリハビリテーション大学の関係等いろいろお話しさせていただきました。今お伺いしましたとおり、これは岩船地区に限ったことではないのですけれども、少子高齢化、特に高齢化が進んでおられて、公共交通機関に乗るための身体状況というのがなかなかかなわない方がふえてきているということは事実として受けとめさせていただきたいと思います。ただ、考えるに個人的な要因と総体的、大きな部分での要因というところを考えたときに、では公共交通として何ができるか、また福祉施策として何ができるか、その辺の切り分けをきちんとした上で施策展開に入ってまいりたいというふうに考えております。私ども公共交通の観点からいきますれば、バスの待合環境の整備とか、そういった部分の視点で可能なところから順次検討していきたいと考えておりますので、その辺のところはご了解いただきたいと思います。

○委 員：はい、わかりました。

○大 滝 会 長：ほかにございませんか。はい。

○委 員：荒川地域でございますが、おかげさまで荒川地域につきましては今月の7日に大型スーパーが開店しました。そんな関係でいわゆる高齢者の買い物弱者率がどんどん、どんどんふえてくるかと思うのです。ぜひそこら辺スポットを当てたのりあいタクシーの充実をさらにやっていただければ大変ありがたいなと思います。それにはやっぱりPRといいますか、市のほうでいろんなチラシなり情報を流してもらっておりますけれども、やっぱり読むほうになりますと1回とか2回ぐらいでは余りぴんこないのです。ですから、3回、4回、とにかく複数回同じチラシで結構ですので、ぜひ受け手の立場でのチラシなり情報を流していただければ大変ありがたいなと、そんな感じしています。よろしくをお願いします。

○大 滝 会 長：はい、どうぞ。

○事 務 局：ご意見ありがとうございました。区長さんおっしゃいますとおり私どもでペーパーで配らせていただくPRにつきましては、1度見るか見ないかで捨ててしまうという方が非常に多くございます。のりあいタクシーのオペレーターさんに聞きますと、やはり以前配った紙をごらんくださいと申し上げても、捨ててしまいましたというのが往々にしてございます。ですので、私どもも毎年配ってはいるのですが、それだけではちょっと不足する部分について先ほどもありましたが、市の保健師なんかと連携しまして、地域で開催される高齢者の集まりとか、そういったところで順次PR活動を行っていきたくたいと。また、大型店が出店したということなのですけれども、相反する部分で地元商店の活性化等もございますので、その辺につきましては慎重に勘案させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○大 滝 会 長：はい、よろしく申し上げます。その他ございますか。その他ないようでございますので、これをもちまして4番の議事と5番のその他を終わらせていただきます。大変ありがとうございました。

○事 務 局：ありがとうございました。それでは、以上で議事につきまして終了となりました。それでは、最後に佐野副会長からご挨拶をいただきたいと思います。

6 閉 会（副会長）

○佐 野 副 会 長：先週東京のほうで公共交通のセミナーというのがありまして、そこに参加したのですが、そのときに名古屋大学の先生といろいろこういう地域公共交通会議とか、そういう制度を立ち上げた方のお話があって、そこで少しおもしろいなというのがありましたので、ご紹介させていただきたいと思います。そこで出た話が、あつてはならない地域公共交通会議の10条というのがありまして、村上市さんの場合は余り当てはまるのがないとは思いますが、一応ご参考にさせていただければと思います。まず、1番が年間予定がなく、開催が行き当たりばったりである。これは大丈夫だと思います。2番、協議事項があるときしか開かない。3番、事前に委員への資料配付をしない。これも大丈夫です。4番、開催事項や決定事項を地域住民や利用者にはわかる形（例えば停留所や車内など）で提示していない。5番、開催時刻を公共交通の時刻に合わせない。（開催通知に公共交通案内を書くなどの工夫がない。駐車場無料券を出すなど論外）、ちょっとこれは都会のところとこういうところで大分違うと思いますけれども、一応彼はそういうことを言っています。6番、傍聴者がいない（PRしていない）。7番、住民利用者代表がしゃべらない（しゃべりやすくする工夫をしていない）。8番、現場を知らない委員に見せる、体験する機会をつくらない（バスは会議室でなく現場を走っている）。9番、コミュニティバスやデマンドしか扱わない（事業路線は話題にもしない）。10番、規定の委員しか集めないということで、ここで言いたいのは、彼が言いたかったというのは、若干一部のところではこの会議がコミバスとか、そういった市が非常に関与している公共交通の話しかできない場になっていることがありまして、きょう住民の方のいろいろなお話が出てきましたので、それをもう少し議題として上げるような形で持って行っていただくとますますこの会議が有効になるのかなと感じました。以上です。

○太 田 課 長 補 佐：ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、第2回村上市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。本日はどうも大変ありがとうございました。

（午前10：15終了）